レッスン：SPA/NO.34

テーマ：現在のパーソナリティーの諸体

SPA34/KE7/10/2A

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供達。

私たちは常に主、絶対、主の聖性によって包まれています。

これまでのレッスンで現在のパーソナリティーについてたくさん述べてきました。現在のパーソナリティーは生それ自体の現れではなく、生の現象の現れです。さて、それについて明確にする必要があります。それは生それ自体の現れではないと言うとき、その理由は生が完全に現れておらず、その現れのスパークが表現されています。生、生のスパークが原因です。

さて、現在のパーソナリティーはサイキカル体およびノエティカル体という二つの体以外の何ものでもありません。実際には二つの体が一つになっています。なぜなら思考から感情・気持ちを分離することはできないからです。

自動的に現れる気持ち・感情と思考を分離することができるでしょうか？そういったことが起こりえるでしょうか？以前、ただ一つの理由でそれが起こりえると述べたことがあります…それは自己実現したパーソナリティーが創造界において特定の助けを提供するときです。一つの惑星上ではなく、例えば太陽系あるいは銀河系においてです。そして気持ちと思考を分けることができると言うとき、それが起きる時にはサイキカル体がノエティカル体のなかに同化しています。その時、その特定の現在のパーソナリティーは自らを現わす上で一つの体だけを使用しています。

なぜそうなのでしょうか？それが必要なのでしょうか？それは必要です、なぜならあらゆる天体はスーパーサブスタンスのマインドのバイブレーションのなかで泳いでいるからです。天体を一つにつないでいるのは、唯一スーパーサブスタンスの海です。そして、そのようなバイブレーションを持っている唯一の体とは高次ノエティカル体です；サイキカル体は超物質のバイブレーションであり、サイキカル体を使って他の惑星を訪れることはできません。あるいは、一つの体としてのノエティカル体のなかでこのバイブレーションを持つことさえできません。

ですから、私たちは超物質のバイブレーションを高めてサブスタンスのバイブレーションに、次にはスーパーサブスタンスのバイブレーションにする必要があります。そして、それを行う唯一の理由とは、他の惑星に助けを提供するときです。しかし、勿論それは非常に稀なことであり、普通は起きません。自己実現したパーソナリティーはそれをすることができますが、しかし好奇心から行うことは決してなく、法則がそれを要請するときのみそれをします。

ですから**現在のパーソナリティーの体として二つの体があります。**なぜなら現在のパーソナリティーとはまさに思考・行動の仕方だからです。

**肉体は現れとして現在のパーソナリティーとは何の関係もありません。肉体は物質界において現在のパーソナリティーがそれ自身を現わすための手段にすぎません。肉体は実際に地のエレメントからできており、それゆえに私たちが肉体を去ると、肉体は地のなかで分解し、そこから出てきたエレメントと一つになります。**

Page2

肉体における他のエレメントはどうでしょうか？水のエレメントは肉体を活性化し、肉体を他の二つの体とつなげます。

さて、肉体のダブル・エーテリックは肉体が築かれる鋳型です。このダブル・エーテリックに何が起きるのでしょうか？肉体が分解するためには、ダブル・エーテリックがエーテルの海で分解する必要があります。前に述べたように、**サイコノエティカル体が肉体から去る時には、肉体の分解という現象が生じます。実際、サイコノエティカル体が肉体のダブル・エーテリックから分離するのです。**そのようにしてサイコノエティカル体は肉体と結びついています。

**ですから分離はダブル・エーテリックからですが、ダブル・エーテリックはしばらくの間生きたままとどまり、ダブル・エーテリックはエーテルの海のなかで分解しようとします。**

さて、肉体のダブル・エーテリックは切り離されたそれ自体としては、使用することはできません。残念なことに、時代を通じて多くのメソッドにおいて、現れの別の体としてこのダブル・エーテリックを使用しようとしました。肉体が埋葬された場所の周りで多くの儀式が行われてきました。それらの儀式の唯一の目的は、何らかの現象を行うためにダブル・エーテリックを使うことです。

実際、彼らが行っていることは、埋葬された肉体のダブル・エーテリックとは何の関係もない別の体を築くことです。彼らは埋葬された肉体のもう一つの同一体を創造しているのです。残念なことに、それらのメソッドは反対のものに奉仕するために使われてきました。真面目な真理の探究者は肉体の死という現象の後、ダブル・エーテリックと呼ばれる体に決して触れるべきではありません。ダブル・エーテリックはエーテルの海で分解するままにさせるべきです。

さて、そのためには何が必要でしょうか？必要なことは水のエレメントが肉体から分離することです。なぜなら、水が現在のパーソナリティーを肉体とつないでおり、同時にそれを活性化させているからです。勿論、エーテル・バイタリティーとしてのエーテルのエレメントもそれを活性化させます。なぜなら、エーテル・バイタリティーは創造界の全てを活性化させる生の海だからです。

さて、肉体から離れた後、現在のパーソナリティーには何が起きるのでしょうか？現在のパーソナリティーはサイコノエティカル界に入ります。さて、どのバイブレーションのところに入るのでしょうか？その気づきのレベルに相当するバイブレーションへと行きます。なぜなら、

その現在のパーソナリティーは気づきのレベルと類似した環境を築くからです。現在のパーソナリティーはそこで環境全体を築き、様々なパーソナリティーさえも作り上げます。

さて、現在のパーソナリティーはどのようにして築くのでしょうか？そうと知らずに創造エーテルを使っています。創造エーテルは現在のパーソナリティーがエーテルの他の三つの特質をマスターしたときに使用することになる、と以前何回も述べました。しかし、例外があります；現在のパーソナリティーがこの現れのバイブレーションにいる時でさえも、意識的にではなく無意識的に創造エーテルを使います；

このバイブレーションにいる間、現在のパーソナリティーは何であれそれが創るものを見ることがありません。

言い換えれば、サイコノエティカル界では何であれ現在のパーソナリティーが創るものはリアルに見ることができます。その環境のなかで現在のパーソナリティーは自らを表現しています。

サイキカル界の主となるエレメントは水です。従ってサイキカル界に入るためには私たちはこのエレメントの輝きを通過する必要があります。ノエティカル界において主となるエレメントはエーテルのエレメント、および同時に火のエレメントです。

主となるエレメントという時、あなた方は何を理解しますか？それは一つのエレメントでしょうか？この現れの世界には四つのエレメントがあります；土のエレメント、水のエレメント、火/エーテルのエレメントです。それではそれらのエレメントとは実際何でしょうか？

それらはマインドの異なったバイブレーションです。物質、超物質、サブスタンス、スーパーサブスタンスのバイブレーションのなかには水のエレメントがあります。他の二つのエレメント、火のエレメント、および火/エーテルのエレメントについても同じです。しかし、四番目の地のエレメントの場合には異なります。マインドのバイブレーションとしてのこの現れは物質であるマインドのバイブレーションのなかにだけ存在します。

Page3

さて、現在のパーソナリティーがサイコノエティカル界にいる時、そこにはこのエレメントは全く存在しません；

しかし現在のパーソナリティーはこのエレメントを示すような似たようなものを作り上げます。なぜなら、現在のパーソナリティーはいまだにこの世界のバイブレーションに住んでいるというイリュージョンを抱くからです。

その現在のパーソナリティーは変化にまったく気が付きません。

現在のパーソナリティーが現在のパーソナリティーの自己実現に到達したとき初めて、別の世界のリアリティーを意識的に生きるようになります。

言い換えれば、現在のパーソナリティーがその不定形の諸体の形を再形成した時です。

その時初めて、現在のパーソナリティーはサイコノエティカル界の様々なバイブレーションのなかを不可視のヘルパーとして超意識的に移動することができるのです。

もし誰かがまだその不定形の諸体を再形成していないのに、他の諸世界のリアリティーを生きていると主張するなら、それはあり得ないことです。

そのパーソナリティーは何であれ潜在意識のマインドのなかにあるものを現わしているのであって、別の世界のリアリティーを現わしているのではありません。

あるいはこの世界のバイブレーションのリアリティーでさえ現わしていないかもしれません。

その様なパーソナリティーは何であれ潜在意識のなかに貯蔵されているものを使うことができるだけです。

**彼らは出来事が起きた後にその出来事を生きるのです**

**彼らはその出来事が起きている最中に参加することはできません。**

**言い換えれば、その出来事が進展しているときにそれを変えたり、**

**それに加わることはできないのです。**

**それを行うためには人は不定形の諸体に関するワークを行い、それを発達させ、完全に再形成する必要があります。**

再形成するということは、肉体の形と同一にするということであり、それは創造の小部屋と同一ということです。なぜなら生が完全に表現されるためには、創造の小部屋と同一の手段を使う必要があるからです。創造の小部屋(Cell of Creation)は同時に最小および最大の同一体です。

物質、どんなバイブレーションであれ物質の原子があり、超物質の原子、スーパーサブスタンスの原子、その他マインドのあらゆるバイブレーションの原子、それらは最大の存在と同一です。過去のレッスンで説明したように、人間が無知にある間はその現れの諸体は創造の小部屋と同じではありません。

そのために意識は無知に取り込まれているのです。

なぜならその現れを表現する手段が天上人と同一ではないからです；天上人は創造界が築かれた鋳型であり、言い換えればそれは創造の小部屋なのです。

**ですから真理の探究者にとって唯一行うべきワークは、現在のパーソナリティーの不定形な諸体を再形成することです。**

**言い換えれば、自分の思考・行動の仕方についてワークすることであり、それだけです。**

私たちは現象のために、人々を魅せるために、無知のなかにいる人間を引きつけるためにパワーや能力を現わそうと欲するべきではありません。しかし、何であれ生が現わすことのできることを無知は現わすことができないのです。

諸体をマスターした結果としてのパワーおよび能力は、テクニックやテクニカルな手段の結果として表現されるどんな現象よりも遙かに偉大なのです。

私たちは創造エーテルには全くタッチしません、創造エーテルは聖霊、絶対存在のダイナミックな現れの監督下にあります。そしてそれは運動エーテル、感覚エーテル、刻印エーテルという他の三つのエーテルをマスターした後に加えられるのです。

勿論、同時に現在のパーソナリティーは創造界の様々なエレメントをマスターするレベルを現わし、同時に他の高次のエレメント（電気、磁気、エーテル…それらはエーテル・バイタリティーの海のなかの質です）をもマスターするようになります。

Page4

勿論、以前のレッスンで述べたように、多くのエクササイズ、多くのワークがあります。そしてその中の一つが水のエレメントをマスターするためのものです。勿論、それは簡単に達成できることではありません。多くの転生が必要です。なぜなら、何か一つのエレメントをマスターするということは同時に全てのエレメントをマスターすることであり、さらにエーテルの特質をマスターすることでもあるからです。ですから、達成できるのはあるレベルまでのことです。

私たちは相対的にマスターすることを目指しています。

なぜなら、現れの諸世界において私たちは（絶対的リアリティーではなく）相対的リアリティーの様々なレベルに遭遇するからです。特に現在のパーソナリティーとして実存の諸世界にいる間に。

現在のパーソナリティーとして私たちは決して完全性に到達することは不可能です；完全性、それは生それ自体と同化することであり、同化とは生それ自体、存在の諸世界だけについてのことです。

ですから、多くのエクササイズを提供し、多くの知識を提供しました。しかし現在のパーソナリティーに重要なことは知識を実践に移すことです。何であれ学んだことを実践することです。そのためにはいわゆる最初にマスターすべきことをスタートすることです。それは何でしょうか？

**水の洗礼、それが最初にマスターすることです。**

水の洗礼、それは何を示しているでしょうか？洗礼は多くの信念、多くのグループで使われています。しかし、なぜそれを行うかを知っているのはほんの僅かな人だけです。なぜそれをするのでしょうか？水の中での洗礼とは何を意味するのでしょうか？それは浄化、純粋にすることでしょうか。どう思いますか？私たちは例えば手を洗ったり、身体を洗うためにこのエレメントを使います。最初のミステリー、

**水の洗礼とは一つのステートを意味します**

**…自分が立っているところを認識すること、自分の無知のレベルを認識すること**であり、

そして（創造のあらゆる法則に反するような自己を引き続き現わし続けるのではなくて）その様々な無知のレベルを背後にして前に進むために、そのレベルからスタートします。

言い換えれば、様々な罪を背後に残して（＊罪とは手を切って）スタートすることです。それが最初のミステリーです。それは一度にできることではありません；スタートしたなら時には多くの転生を通じて継続されます。それが水の洗礼です。他の洗礼、火の洗礼、スピリットの洗礼についても勿論同じことが言えます。

しかし今、あなたは最初の洗礼、水の洗礼の準備をする必要があります。水のエレメントと親しむために助けになるエクササイズを使っていきます。そして私たちが水のエレメントと言うとき、それはその光、輝きを意味します。

さて、水のエレメントはホワイトブルーの色によって示されます。それでは実際にいろいろな色とは何でしょうか？様々な色はどのようにして創造されるのでしょうか？それらは実際に異なった色なのでしょうか？どう思いますか？なぜ異なった色があるのでしょうか？この“リアリティー”に科学はどうアプローチしているでしょうか？いかにして色は創造されるのでしょうか？

光があり、光線があり、色が現れます。なぜなら光はサブスタンスの様々なバイブレーションを通って反射するからです。そして様々な色として私たちが解釈します。しかし実際にはそれは水のエレメントを通過します。それゆえに虹があり、あなたは海の水のなかで色の分離を体験することさえできます。

ですから、いろいろな色は実存の諸世界にのみあり、生の現象に色を与えています。それだけです。実存の諸世界より高いレベルでは全ては光であり、そのリアリティーを言葉を通じて描写するのは困難なことです。

次のエクササイズは水のエレメントによってあなたを助けることでしょう。あなたの意識を反対側に移します…現在のパーソナリティーが無知によって影響されないことを意味します。そしてそのポジションからあなた自身の現在のパーソナリティーについて学ぶことができます；学ぶことによってそれを矯正することができ、啓発に導く、つまり現在のパーソナリティーの自己実現へと導く、つまり最初の磔（それは意識およびセルフ・エピグノシスのバランス以外の何ものでもありませんが）へと導くアベニューに向かう正しい道に面することができます。

聖霊的現れを伴うロゴス的現れのバランスを取ること、それは最初の磔であり、その結果生命の木において現在のパーソナリティーの下部の三角形が他の二つの大きな三角形と同一になります。

しかし、いずれにしても道は非常に遠く、たくさんのワークをする必要があります。多くのシステムが考えているほど簡単ではありません。私たちは決してヘブンを自分たちの理解のレベルへと引き下ろすべきではありません。七つのヘブンがあり、私たちは三つのヘブン、存在のヘブンではなく実存のヘブンに住んでいます。人間はそれを認識する必要があります。

私たちはこの地球上のすべての人間、全てのモナドが現在のパーソナリティーの自己実現のレベルに到達するまでは、これらのヘブンに留まります。

このことを認識する必要があります。だれも自分だけのために誰かを背後に残して行くことはしません；

そして一つの惑星として私たち全員がそのレベルに到達したとき、転生のサイクルのなかに留まりますが、しかしそこでは生の特質を完全に現わすようになるでしょう。

この特定の惑星における現在のパーソナリティーは自由に物質化と非物質化ができるようになるでしょう。

そしてまた他の惑星の人類に奉仕するようになるでしょう。

“どのぐらい長い間”？神の計画が意図する間です。そしてその時初めてその特定の惑星の全ての人類は全体として生の諸世界に入るようになります。それはつまり四つのヘブンです。

ですから、現在のパーソナリティーの実存の諸世界として三つのヘブンがあり、現れとしての生それ自体として存在の諸世界の四つのヘブンがあります。

そして二番目の磔があり、それはスピリットにおける洗礼の始まりとなります。

それは魂のセルフ・エピグノシスがスピリット・セルフに戻る、つまり一つになる(at-one-ment)

三番目の磔で終わります。言い換えればテオーシス（＊神との合一）、源への帰還です。

ですから誰も転生のサイクルにおいて、現在のパーソナリティーがこのポジションから上のことを体験することはありません。実存の諸世界にいる人間は、何であれ下の三つのヘブンのなかにあるものを体験することができるのです。

あなた方は「それらのリアリティーをどのようにして知り、それを私たちに与えるのか」と尋ねるかもしれません。いかにして知るのでしょうか？体験に基づいた知識でしょうか？違います、体験による知識ではありません。それは同調の結果であり、エピグノシスとして内側からやってくるものであり、魂のセルフ・エピグノシスとして（それらのリアリリティーを生きている）他の兄弟たちから来るものです；それは体験に基づく知識ではありません。残念なことに多くの神秘家たちは同調を同化と間違えています。同調することと同化することは完全に異なるものです。同化は現在のパーソナリティーのものではなく、実存の諸世界におけるものではありません。同化は現在のパーソナリティーに対するものではありません。それは実存の諸世界のものではなく、これらの諸世界における成長レベルではありません。同化とは魂のセルフ・エピグノシスである生それ自体に対するものです。

エクササイズ SPA/34 NO.1

静かに座り、心を騒がせるものすべてを解き放ちます…真っ白な自分自身を視覚化し、自分の形の境界を感じます…同時に真っ白な五芒星のなかで守られている自分自身を見ます…あなたは真っ白のなかにいて自分の形の境界を感じます…そして五芒星の真っ白な輝きの中で守られています…

あなたは今部屋の真ん中に立っており、その壁は鏡になっています…四つの壁は鏡です…あなたは自分が立っているところ、あるいは部屋の天井にはフォーカスしません…周囲を見回すと、見えるのは四面の壁と同じ大きさの四面の鏡です…前を見ると、鏡のなかにあなたの肉体のイメージが見えます…それはイメージです…あなたの肉体と同一のイメージです…他の鏡からの反射はありません…それぞれの鏡に映っているのはあなたの肉体だけです…つまり、それぞれの鏡に他の鏡から反射されているイメージはありません…さて、頭を右に向けるとそこには、頭を左に向けているあなたのイメージが映っています…右を向くと頭を左に向けたあなたのイメージがあなたを見ています…あなたの実際の頭の向きと反対です…同じ事があなたが左に頭を向けたときにも生じます…鏡のなかには頭を右に向けたあなたが映っています…さて、目の前のイメージにフォーカスし、その自分のイメージを観察します…それはあなたの肉体と同一です…

あなたが実際に観察しているのは映っている姿です、そしてそうすることによって、徐々にあなたは自分の形の境界から解放され、自由になります…そして今自分自身に問いかけます…この映っているイメージは何だろうか、そして意識のセンターとしての私との関係は何かと問います…なぜならば、自分の形の境界を感じなくてもあなたは完全だと感じるからです…目の前にあるイメージと自分との関係は何か…私の肉体と私自身との関係は何か…あらゆる方向に映っているこの肉体と私との関係は何か…しかし、もはや自分の形の境界を感じなくても、自分は完全だと感じている…大部分の人が本人だと見なしている肉体と自分との関係は何か…

さて鏡が消え、壁、部屋全体が透明なガラスでできています、屋根、あなたが立っている床ですら透明なガラスで出来ており、部屋全体がいまやガラスになっています…徐々に部屋全体が水のエレメントで包まれていることに気づきます…あなたはガラスでできた部屋の真ん中に立っていて、水のエレメントによって包まれています…もう周囲を見回しても何も映っていません、いかなるイメージ、姿も映っていません…今あなたが感じるのは静寂、平安、調和です…今このエレメントの調和を体験しています…このエレメントのなかにいかなるアンバランスも見えません…このエレメントのなかにいかなる動きも感じず、とても静かで、絶対の静寂があります…

この静寂があなたのなかの水のエレメントに影響を与えるように願います…あなたが静寂になるように、言い換えればあなたのサイキカル体が波打って現在のパーソナリティーに嵐を生み出すことがないようにです…あなたはこのエレメントの静寂と調和に包まれています…実際あなたはガブリエルに抱かれています、なぜならガブリエルはこのエレメントを司っており、さらに現在のパーソナリティーが現れの感覚として五つの超感覚を使用するように導く入口を支配しています…現在のパーソナリティー全体の健康を願います…現在のパーソナリティーがより良いセルフを現わすよう、自己実現に向けてあなたを助けているアークエンジェルたち全てに感謝を捧げます…ガブリエルに包まれているのを感じます…ホワイトブルーの光の輝きに飲み込まれている自分自身を見ます…

私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

EREVNA SPA/34.KE7/4/02